※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０１

令和８年度　家庭科

教科	専 家庭	科目	（学）被服応用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習への参加の仕方や態度（関心・意欲・態度）によって評価します。
・製作の基本的な知識を技術に加え、独自のアイディアや工夫をしましょう。
・作る楽しみを感じましょう。

2　学習の到達目標

〇手縫いやミシンなどの被服に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得する。
〇ミシンでの製作に関心を持ち、思考、創造した作品製作の中で、よりよい制作について判断し、自分の作品を表現できる力を身につける。
〇作品製作を通して、主体的に製作する力と取り組む態度、資源や環境のことも考え、長く使えるものづくりや商品を選ぶ力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実習を通じて技能を修得し、デザインや材料の選択に関し創意・工夫することができる。 ・手芸の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、創造的に製作するために必要な知識を身につける。	・能率的に製作を行う技能があり、個人の創意・工夫を表現できる。 ・目的に応じてどのような材料・デザインを選択するか判断しながら製作する力を身につける。	・手芸の構成・材料・製作について関心を持ち、家庭生活の充実・向上をめざして意欲的に取り組むとともに、創造的に製作する態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ミシンの基礎を学ぶ	・ミシンの特徴と扱い方 ・ミシンの小テスト ・ミシンを使った作品作り 作品の提出と相互評価	a: ミシンの特徴を理解し、操作方法や適切な扱い方について理解している。 b: ミシンの特徴を理解し、ミシン操作を適切に判断し、作品を製作することができる。 c: ミシンについて関心を持ち、その特徴について積極的に学び、作品作りに取り組もうとしている。	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出
	生地を知る	・生地の種類と適性を学ぶ ・生地に適した糸の種類を学ぶ ・はぎれの活用 つまみ細工 針山	a: 古布やはぎれなどを大切に使ってきた歴史を理解している。 b: 数限りある色の中で工夫することができる。 c: 資源や環境のことも考え作品作りに取り組もうとしている。	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出 定期考査	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出 定期考査	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出
2学期	ハーフパンツ製作	・採寸方法について学ぶ ・布端の処理 (袋縫い・折伏せ縫い)について学ぶ ・ミシンの活用 ・平面構成と立体構成 ・洗濯表示	a: 基本的な縫製技術を身につけている。 平面構成と立体構成の特徴を理解している。 b: 縫製などを工夫することにより着心地のよい被服を作成している。 c: 着用する時をイメージしながら意欲的に取り組もうとしている。	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出 定期考査	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出 定期考査	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出

※令和４年度以降入学生用

３学期	カバン製作	・生地の特徴を知る ・色の組み合わせを考える ・型取り ・ファスナーのつけ方 ・まちのつけ方	a： ミシンの応用的技術を習得し、製作に生かすことができる。 b： 生地やパーツ、ファスナーの色の組み合わせを考え、工夫することができる。 c： 袋ものの構成について積極的に学び、作品作りに取り組もうとしている。	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出	授業観察 プリント 実習記録 実習観察 レポート 作品提出

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度